



## 概要

紋別市は、広大な市域に集落が分散していることもあって、効率的な路線バスの運行が難しく、郊外においては全て赤字路線であるほか、公共交通空白地帯も存在する状況にあることから、バス路線網の再編・公共交通空白地帯対策の推進、バスを利用しやすい環境の整備、バス路線維持に向けた地域による自主的な取り組みの推奨、商店街・観光施設等との連携等により、公共交通の利便性や快適性の向上を図り、地域における交通弱者の移動手段を確保するとともに中心市街地のにぎわい・観光交流を創出し、継続可能で地域の活性化に寄与する公共交通体系の構築を図る。

### バス路線網再編・公共交通空白地帯対策(21年度～)

- 合理的、効率的なバス運行形態を構築するため、市内4路線のバス路線及びダイヤを見直し、市内循環線として統合・再編を図るための実証実験を行う。
- 公共交通空白地帯での少人数の需要に応える輸送方法として、混乗を実施済みのスクールバスを含めデマンドバスによる運行について検討を行う。

### バスを利用しやすい環境整備(21年度～)

- バスを利用しやすいチケット、運賃体系の構築を図るため、バス路線網再編と合わせて、市内全路線で利用可能な共通チケット、乗継券、1日券の発行などの検討を行う。

### 地域による自主的な取り組みの奨励(21年度～)

- バス路線の維持に向けて、待合所の清掃、除雪などの維持管理を地域が主体となって取り組む仕組みづくりや既存店舗などの待合空間としての活用について検討を行う。

### 商店街・観光施設等との連携(21年度～)

- バス利用者と商店街の買物客相互の確保に向けて、バス利用者に商店街で使用できるクーポン等発行の検討を行う。
- 観光目的に利用されるバスの利便性向上のため、空港・主要観光施設等と連携したバス運行の実証実験を行う。



## 紋別市地域公共交通活性化協議会 計画事業の取組状況

主な事業内容	協議会開催状況	5回開催	分科会等開催状況	3回	回数は、平成21年度末までの開催予定
<b>バス実証運行</b> ・市内4路線の循環バスを効率的な路線網2路線へ再編 ・利用者利便性の向上、潜在需要の喚起を試行 ・冬期観光バス・空港アクセス実証実験 ・冬期観光の活性化を図るため、市内観光施設と連携したシャトルバス充実の試行 ・設備の充実 ・小型バス導入(市内循環バス用) 2台			公共交通利用促進のためのPR・情報発信 ・WEBや啓発チラシでのバス運行情報周知 ・バスの日イベント実施 ・ノーマイカーデー実施 調査・研究等 ・乗降調査・アンケート調査の実施		

実施状況	公共交通の利用促進のためのPR・情報発信
<b>バス実証運行</b> ・市内循環バス(南北2路線) 平成21年10月1日から平成22年3月31日まで運行 ・冬期観光周遊バスとの連携 既存の冬期周遊バスと連携し、お土産屋や空港、山頂、流水岬などをポイントに加え、冬期観光とバス利用の活性化を図る。	・10月から運行する循環バスの周知 時刻表散らしホームページ等で情報発信 ・「乗ろうよバスの会」会員募集 入会金でバス回数券がもらえる。
<b>設備の充実</b> ・小型バス導入 37人乗りバス 2台導入(平成21年9月:1台、平成22年3月:1台) 小回りの利く小型バスとし、燃費の節減など環境対策を考慮 車いす対応	調査・研究等 ・乗降調査の実施 ・バス利用者アンケートの実施

### 自己評価のポイント

- 時間別・曜日別による乗降調査の実施から、利用者ニーズに対応した路線の見直しを実施しているものの、採算のとれる路線まで至っていない。
- 利用者数、収入ともに当初の想定より上回っているものの持続可能な本格運行に向けた改善を行い、安定的な運行を目指す検討を行った。年度途中で本格運行に移行する考えである。

### 二次評価のポイント

自己評価のとおり、市内循環バスについては、本格実施に向けた取組みに期待する。